

社団法人 日本地すべり学会

## 中部支部ニュース

第  
6  
号

〒380-8553

中部支部事務局

長野市若里 4-17-1

信州大学工学部

社会開発工学科内

## 巻 頭 言

平成 16 年 4 月 1 日に長野県へ赴任して 1 年が経ちました。平成 16 年度は、7 月の新潟・福井の豪雨災害にはじまり、中部地方各地では、9 月・10 月の三重・岐阜・静岡の相次ぐ台風豪雨に伴う土砂災害。さらには、新潟中越地震災害等と全国的に土砂災害が多発する 1 年でした。

長野県においても、9 月の長雨と台風 23 号により数多くの地すべり災害が発生しました。家屋への被害をはじめとして、多くの地域が孤立し、多くの方々が避難生活をする等、住民のみなさんの不安な生活が続きました。こうした中で、地すべり対策の技術が、迅速な警戒避難体制の整備や復旧に向けて大いに役立ったことを感謝いたします。



幹事長 原 義文

(長野県土木部参事兼砂防課長)

(社)日本地すべり学会中部支部は、会員の皆さんの積極的な参加により活発な活動が続いていることを心強く感じております。特に昨年は、9 月に「長野県西部地震」から 20 年目を迎え、被災地であった木曾郡王滝村を中心としてシンポジウムが開催されました。研究者、技術者や行政職員、住民約 400 名の方々が集まり、御岳崩れ等の西部地震災害を振り返りながら、今後の土砂災害対策について、熱心な討論が行われました。

平成 17 年 2 月には調査検討を進めてきている地すべりの抑制工に関するシンポジウム「地すべり地の地下水」を開催いたしました。また岐阜県での「南外垣地すべり現地検討会」の開催、さらには、「長野県地すべり技術指針(案)」の検討など、技術向上に向けて活発な活動が展開されました。ご参加・ご担当された方々のご努力に改めて感謝いたします。今後とも、地すべり対策技術の向上に向け会員の皆さんの積極的なご協力をお願いいたします。

平成 17 年度は、5 月に長野市において、地すべり学会の主催による「地すべり災害と緊急対応」をテーマとしたシンポジウムが予定されております。また 6 月 10 日～11 日には「三重県宮川村における平成 16 年台風 21 号災害現地見学会と住民を対象とした土砂災害防止講座」、9 月には愛知県のご協力のもとに地すべり現地検討会を計画しています。多くの皆様の参加をお待ちしております。今後もより一層、会員始め地域社会へサービスを提供できる支部活動を目指して行きたいと存じます。

# 平成 16 年度 (社) 日本地すべり学会中部支部総会

## プログラム

日 時 平成 16 年 5 月 14 日 (金) 14:30~15:00  
場 所 サンパルテ山王

### ~~~~~ 総 会 ~~~~~

- 1 開 会
- 2 支部長挨拶
- 3 来賓挨拶
- 4 議長選出
- 5 (社)日本地すべり学会中部支部  
への移行について
- 6 議 事 . . . . .
- 7 支部新役員紹介
- 8 その他
- 9 閉会

- |         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 15 年度事業報告に関する件               |
| 第 2 号議案 | 平成 15 年度決算報告の承認に関する件            |
| 第 3 号議案 | 地すべり学会中部支部規定の廃止と支部<br>運営規則に関する件 |
| 第 4 号議案 | 平成 16 年度事業計画の承認に関する件            |
| 第 5 号議案 | 平成 16 年度事業予算の承認に関する件            |
| 第 6 号議案 | 役員の改選に関する件                      |

### ~~~~~ 講 演 会 ~~~~~

時 間 15:15~16:30  
場 所 サンパルテ山王  
演 題 「地すべりとのGISについて」  
講 師 (社)日本地すべり学会中部支部支部長 北澤 秋司 氏

### ~~~~~ 技 術 交 流 会 ~~~~~

時 間 17:30~19:00  
場 所 サンパルテ山王  
会 費 5,000 円

## 第 1 号議案 平成 15 年度事業報告書

年月日	活 動 内 容	備 考
H15. 4. 23(水) H15. 5. 16(金)	第一回幹事会 (役員の選出・総会議案書検討) 中部支部総会・役員会 講演会 “地すべりと岩運動” 渡 正亮 氏 (長野市 サンパルテ山王)	参加者:100名
H15. 8. 29(金) H15. 10. 22(水) H15. 12. 22(月) H16. 2. 4(水)	第二回幹事会 (総会報告・シンポジウム検討) 現地検討会 (石川県白峰村 百合谷地区地すべり) 第三回幹事会 (次年度総会検討・シンポジウム準備) 中部支部シンポジウム 地すべり地における現場透水試験と透水係数 (長野市 県民文化会館)	参加者:45名
H16. 3. 12(金) H16. 3. 31(水)	第四回幹事会 (本年度総括と次年度計画) 中部支部ニュース発行	参加者:75名

## 第 3 号議案

## (社) 日本地すべり学会中部支部 運営規則 (案)

- 第 1 条 (社) 日本地すべり学会支部設置規程 (以下支部設置規程という) 第 11 条にもとづいて, (社) 日本地すべり学会中部支部 (以下支部という) の運営規則を定める。
- 第 2 条 支部に運営委員を置く。支部運営委員は, 支部役員, 幹事長, 副幹事長, 幹事をもってこれに当てる。
- 支部運営委員
- 支部役員 (支部設置規定による)
- 幹事長 1 名
- 副幹事長 若干名
- 幹事 若干名
- 第 3 条 支部運営委員会の中に事務局会議を置き, 支部に関する事務を処理する。
- 第 4 条 事務局会議は, 支部長, 幹事長, 幹事をもって構成し, 幹事長がこれを招集する。
- 第 5 条 幹事長が必要と認めるときは事務局会議の中に部会を設置し, 招集することができる。
- 第 6 条 総会の議事は, 出席者の過半数をもって決定し, 可否同数の時は, 支部長の決定による。
- 第 7 条 支部の事業年度は, 毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。
- 第 8 条 支部の経費は, 本部助成金, 協賛金, 特別協賛金, 寄付金及びその他の収入をもってあてる。
- 第 9 条 支部の予算と決算は, 総会の承認を受け, 支部長は本部に報告する。
- 第 10 条 本運営規則を改廃しようとするときには, 支部総会の議決を経なければならない。

## 附則 1

- 1 本運営規則は, 平成 16 年 5 月 1 4 日より施行する。

## 地すべり学会中部支部規定 (現行規定)

- 第 1 条 (社) 日本地すべり学会運営規則第 5 章第 23 条にもとづいて支部を置き, 地すべり学会中部支部 (以下支部という) と称する。
- 第 2 条 支部会員は, 主として中部地方 (愛知県, 石川県, 岐阜県, 静岡県, 富山県, 長野県, 三重県) 在住で本部に入会している一般会員, 賛助会員及び特別会員をもって構成する。
- 第 3 条 支部は, 学会の目的を達成するための事業のうち, 支部に関するものを行う。
- 第 4 条 支部に次の役員及び顧問をおく。
- |       |     |
|-------|-----|
| 顧 問   | 若干名 |
| 支 部 長 | 1 名 |
| 副支部長  | 若干名 |
| 会計監査  | 2 名 |
| 幹 事 長 | 1 名 |
| 副幹事長  | 若干名 |
| 幹 事   | 若干名 |
- 第 5 条 支部長, 副支部長, 会計監査及び顧問は, 前年度役員会が支部内の会員のうちから推薦し, 総会において承認を得る。幹事長, 副幹事長及び幹事は支部長が委嘱する。
- 第 6 条 役員任期は 2 年とし, 再任を妨げない。
- 第 7 条 支部長は支部を代表し, その会務を総括し, かつ会議の議長となる。副支部長は, 支部長を補佐し, 支部長に事故ある時は, その職務を代行する。会計監査は, 支部の会計を監査する。幹事は, 支部に関する事務を処理し, 幹事長は, これを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。
- 第 8 条 事務局は, 幹事会において協議のうえ決定する。
- 第 9 条 支部の会議は, 総会, 役員会及び幹事会とする。定例総会は, 毎年 1 回, 臨時総会, 役員会及び幹事会は, 支部長が必要と認めるときに随時召集する。なお, 支部長が必要と認めるときは幹事会の中に部会を設置し, 招集することができる。
- 第 10 条 総会の議事は, 出席者の過半数をもって決定し, 可否同数の時は, 支部長の決定による。
- 第 11 条 支部の事業年度は, 毎年 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までとする。
- 第 12 条 支部の経費は, 本部交付金, 支部賛助会員費, 支部特別会員費, 寄付金及びその他の収入をもってあてる。
- 第 13 条 支部の予算と決算は, 総会の承認を受け, 支部長は地すべり学会長に報告する。
- 第 14 条 本規定を改廃しようとするときには, 総会の議決を経なければならない。

## 附則 1

- 1 本規定は, 平成 10 年 12 月 3 日より施行する。

平成 16 年度シンポジウム  
—長野県西部地震と御岳崩れ 20 周年—  
御岳山の現在と土砂災害をふりかえって  
開催日程とシンポジウムの内容

平成 16 年 9 月 12 日～13 日の日程で開催された御岳崩れ 20 周年のシンポジウムでは災害から 20 年目を迎え、当時の生々しい証言や、火山学・地震学・災害科学・砂防学・森林科学（等）の専門家からの最新の研究発表など多分野の方々からの参加によって盛大に開催することができました。開催内容は以下のとおりです。

**開催日程 平成 16 年 9 月 12 日（日）～13 日（月）**

主催：（社）日本地すべり学会中部支部

共催：長野県・国土交通省中部地方整備局・林野庁中部森林管理局・王滝村

シンポジウムのプログラム

平成 16 年 9 月 12 日（日）

「御岳崩れ」災害現地見学会

王滝村（各宿泊施設）8:30 頃→御岳・田の原駐車場 10:15～10:30（御岳崩れ全景）⇒御岳崩れ直下 11:10～12:40（御岳崩れ観察・昼食）⇒田の原駐車場 13:20～13:30→王滝川・濁川合流点 14:30～15:00、砂防施設除幕式参加 15:00～15:40→濁川森林管理署展望台 16:00～16:20（治山対策工事・ポーリングコアなどを見学）→王滝川・天然ダム 16:40～16:50→木曾文化公園文化ホール 17:30

見学会は田の原駐車場より御岳崩れを正面から観察し、午後は濁川の見学が主要メニューとなりました。終了後のバスの到着地は、木曾福島駅及び木曾文化公園文化ホール（文化公園宿泊施設駒王）になりました。

天候により行程が変更される場合が予想されましたが、晴天のうちに見学会が行われました。現地見学会は、80名（マイクロバス4台）で実施しました。

夜間小集会、研究事例発表

17:45～19:00 木曾文化公園文化ホール第2会議室

意見交換会

19:00～20:30 木曾文化公園文化ホール併設 宿泊施設駒王レストラン

平成 16 年 9 月 13 日（月）

一般講演及びシンポジウム

木曾文化公園文化ホール 大ホールにて地域住民の方々も合わせて 400 名近くが出席され、一般講演とシンポジウムが開催され、この様子はテレビ・新聞などのマスコミ取材により広く報道されました。

## - 開 会 -

9:20-9:30 地すべり学会中部支部長 あいさつ 北澤 秋司 (信州大学名誉教授)

## - 第 1 部 - 一般講演 9:30~12:10

- 9:30 -9:50 三宅 康幸 (信州大理学部教授)  
「乗鞍火山群, 御岳山周辺における火山防災」
- 9:50 -10:10 山岡 耕春 (東京大学地震研究所教授)  
「御岳周辺における最近の群発地震活動について」
- 10:10-10:30 諏訪 浩 (京都大学防災研究所助教授)  
「御岳大崩壊と岩屑なだれのメカニズム」
- 10:50-11:10 井上 公夫 (日本地形学連合 / (社) 日本地すべり学会)  
「御岳崩れ発生後 20 年間の地形変化」
- 11:10-11:30 北浦 眞吾 (林野庁中部森林管理局治山課長)  
「震災跡地における緑の再生」
- 11:30-11:50 上垣外義権 (長野県木曾建設事務所)  
「西部地震災害の対応とその後」
- 11:50-12:10 西村 武美・出口 栄也 (長野県木曾地方事務所)  
「民有林治山事業からみた災害復旧対策と現在の復旧状況」

## - 第 2 部 - 市民講演及びパネルディスカッション 13:00~16:30

- 開催地挨拶 小林 正美 (王滝村村長)  
基調講演 原 義文 (長野県土木部砂防課長)「御岳崩れとその対応」  
基調講演 川上 浩 (信州大学名誉教授)「御岳大崩壊と軽石層の土性」

## パネルディスカッション

「-長野県西部地震と土砂災害をふりかえって今考えること-」

司 会： 川上 浩 (信州大学名誉教授・元信州大学工学部長)

- パネリスト： 諏訪 浩 (京都大学防災研究所助教授)  
北澤 秋司 (信州大学名誉教授)  
青木 勇一郎 (元林野庁長野営林局王滝営林署長)  
家高 卓郎 (王滝村前村長)  
田中 亮治 (災害体験者)  
原 義文 (長野県土木部砂防課長)

## - 閉 会 - 16:30

## パネル展示

9月13日(月) 午前10時30分~15時30分

- 展 示 - 場所：玄関ホール周辺

国土交通省多治見砂防国道事務所, 林野庁, 歴史地震研究会, 長野県, 王滝村などを始めとして, (社)地すべり学会中部支部協賛法人会員による機器展示や, ポスターによる研究成果の発表がありました。

地域社会との連携

シンポジウムの開催にあたっては、ポスターやチラシを市町村役場を通じて木曾郡内の一般家庭にPR用として配布し、(社)日本地すべり学会中部支部が地域と連携しながらすすめてゆくことができました。

共催団体を始め、後援団体の方々に改めて感謝致します。

平成16年度シンポジウム

—長野県西部地震と御岳崩れ20周年—

御岳山の現在と土砂災害をふりかえって

開催日程 平成16年9月13日(月) 9時20分～16時30分

開催場所 木曾文化公園文化ホール

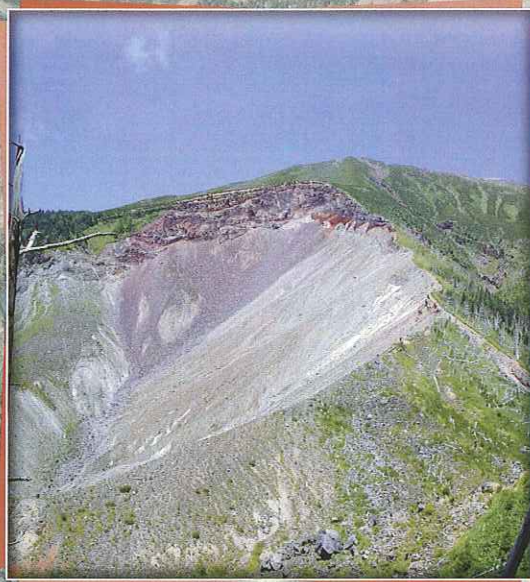
(木曾郡日義村木曾駒高原 TEL 0264-23-8011)

一般講演及び市民講演・シンポジウム

パネル展示 場所: 玄関ホール

展示(予定団体)

国土交通省多治見砂防国道事務所、林野庁中部森林管理局、歴史地震研究会、長野県、玉滝村



主催:(社)日本地すべり学会中部支部

共催: 長野県  
国土交通省中部地方整備局  
林野庁中部森林管理局  
玉滝村

後援: 長野県治水砂防協会  
日本地形学連合  
歴史地震研究会  
長野地方気象台  
(社)地すべり対策技術協会中部長野県支部  
長野県砂防ボランティア協会  
NPO法人 地すべり防止工事士会  
NHK長野放送局  
SBC信越放送  
NBS長野放送  
TSBテレビ信州  
ABN長野朝日放送  
信濃毎日新聞社  
新建新聞社  
中日新聞社  
長野日报社

参加  
無料

連絡先・問い合わせ先

地すべり学会中部支部事務局  
〒380-8553  
長野市若里4-17-1 信州大学工学部社会開発工学科内  
TEL・FAX 026-284-0833

御岳崩れ現地見学会とシンポジウムの開催の様子



田の原駐車場から見た御岳崩れ



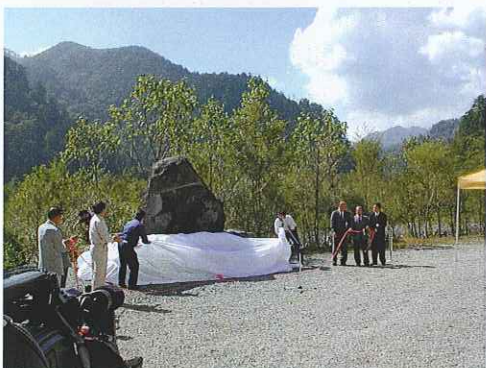
御岳崩れ下部斜面の見学



地質調査試料の観察



原 義文 長野県土木部砂防課長の挨拶



王滝村による砂防事業記念碑の除幕式



伝上川下流濁沢第一砂防ダムの見学



滝越下流柳ヶ瀬の天然ダムの見学



研究発表会の講演

以上

(報告：日本工営（株） 田中 靖政・飯沼 達夫)

■ (社) 日本地すべり学会中部支部共催事業 ■

公開シンポジウム

平成 16 年 9 月 18 日

— 三重県の歴史地震と津波を考える —

(社) 日本地すべり学会中部支部では、歴史地震研究会からの要請により、首記の公開シンポジウムに後援団体として参加しました。

市民講演会には、三重県鳥羽市民、行政関係者、学識経験者など約 300 人が参加されました。鳥羽市の方々より、地震防災に対する意識啓発に対して、(社) 地すべり学会中部支部も貢献していることが評価されました。

**公開シンポジウム**

# 「三重県の歴史地震と津波を考える」

**日時： 9 月 18 日 (土) 13:00～17:00** **参加無料**

**場所： 鳥羽市民文化会館大ホール**

主催：歴史地震研究会  
共催：鳥羽市、三重県  
後援：(社)日本地すべり学会中部支部

— プログラム —

司会：伊藤和明 (元NHK解説委員)

13:00～13:10 主催者あいさつ  
都司嘉宣 (歴史地震研究会会長)

13:10～15:10 基調講演 (各30分)  
安藤雅孝 (名古屋大学)  
『東海・東南海地震と三重県』  
都司嘉宣 (東京大学地震研究所)  
『三重県の歴史地震と津波』  
矢田俊文 (新潟大学)  
『1498年明応東海地震の津波被害と中世安濃津の被災』  
村山 睦 (鳥羽市文化財調査委員)  
『志摩国(現鳥羽市・志摩郡)の津波の記録について』

15:10～15:30 休憩 (20分)

15:30～16:30 パネルディスカッション (60分)  
パネリスト：安藤雅孝、都司嘉宣、矢田俊文、村山 睦

17:00 閉会

東南海地震の津波被害(1944.12.7)  
写真提供 太田 金典 氏



地すべり現地検討会 一報 告一  
みなみがいと  
**「岐阜県 南垣外すべり」**

平成 16 年 10 月 15 日

～平成 16 年度 第 6 回 社団法人日本地すべり学会 中部支部現地検討会を終えて～

基礎地盤コンサルタンツ（株）中部支社  
 運営委員長 風間 大

### 〈南垣外地すべり現地視察〉

今回で 6 回目となる中部支部現地検討会は、平成 16 年度 10 月 15 日（金）に岐阜県瑞浪市日吉町の「南垣外地すべり地区」において開催されました。この時期は東海地方を襲った台風による土砂災害が多発したこともあり、参加人数は、21 名と前回と比べて小規模な検討会となりました。

南垣外地すべり地区は、岐阜県瑞浪市の北約 5km の日吉川支流南垣外川の右岸側に位置しています。

地すべり防止区域の総面積は 38ha で、山頂付近の凹地状地形を有する全体地すべりと全体地すべりに内包される末端部の小地すべりの計 10 ブロックで構成されています。

今回は、現在施工の進められている末端部押え盛土工、頭部排土工、および山頂部の凹地状地形等を視察しました（写真-1）。



写真-1 頭部排土工の見学

### 〈現地検討会討論会〉

現地視察後は、瑞浪市化石博物館（研修棟）に移動し、検討会を開催しました。（写真-2）

検討会では、北澤支部長をはじめとした出席者の方から様々なご意見をいただき、今後の地すべり監視、対策を行うための貴重な会議となりました。

検討会後は、化石博物館の見学も行われ、無事現地検討会の日程を終えることができました。

最後に今回の現地検討会の開催にあたりご協力いただいた、岐阜県建設管理局砂防課、岐阜県多治見建設事務所河川砂防課、並びに中部支部事務局と参加者全員の方々に、深く感謝申し上げます。

以上



写真-2 検討会の様子

平成 16 年度  
地すべり学会中部支部シンポジウム  
“地すべり地の地下水”

平成 17 年 2 月 2 日

平成 17 年 2 月 2 日に長野市の県民文化会館において、76 名が参加されて「地すべり地の地下水」について講演 2 題、話題提供 6 題が貴重な事例発表として紹介されました。

講演題目と発表プログラムは下記のとおりです。お忙しいところ御講演いただきました、先生方、発表者の方々、誠にありがとうございました。また討論では、出席者の方より多くの貴重な意見を頂きましたことを合せてお礼申し上げます。

### 「地すべり地の地下水」開催プログラムの紹介

10:00~10:15

開会の辞	中部支部 (小野幹事)
支部長挨拶	北澤秋司 支部長
来賓挨拶	原義文 長野県土木部参事砂防課長
シンポジウムの趣旨説明	中部支部幹事 (内藤幹事)

10:15~12:00

講演

①「土质地質学的立場からの地下水開発の事例と考察」	宮本 昇
②「地下水融雪」	安彦 宏人

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 (小休憩はさむ)

話題提供

①「地すべり対策に水質を利用した事例-1」	石井 康彦
②「地すべり対策に水質を利用した事例-2」	加藤 俊典
③「電磁式流量計を使用した集水井の排水量観測」	田中 剛
④「地下水検層の室内実験結果」	赤井 静夫
⑤「生物定着型水路工の開発」	内藤 哲
⑥「簡易揚水試験方法のあり方」	川上 浩

16:00~16:20

総合討論

16:20~16:30

総括	北澤秋司 支部長
閉会の辞	中部支部 (小野幹事)

技術交流会 17:30~19:30 ◆ ホテルサンルート長野東口店

### 平成 16 年度 地すべり学会中部支部シンポジウム 講演者・話題提供者のご紹介

講演①；宮本 昇 <元日本工営株式会社取締役 中央研究所長>  
 講演②；安彦 宏人 <日本地下水株式会社取締役 技術本部長>  
 話題提供①；石井 康彦 <林野庁中部森林管理局 森林整備部治山課 民有林治山係長>  
 話題提供②；加藤 俊典 <農林水産省関東農政局 西部農地保全事務所 調査課長>  
 話題提供③；田中 剛 <日本物理探鉱株式会社 中部支店>  
 話題提供④；赤井 静夫 <(株)北信ポーリング 専務取締役 長野支店長>  
 話題提供⑤；内藤 哲 <明治コンサルタント株式会社 長野支店長>  
 話題提供⑥；川上 浩 <信州大学名誉教授 (社)日本地すべり学会中部支部顧問>

## 広 報 (その 1)

### 平成 17 年度 (社)日本地すべり学会総会・同中部支部総会 およびシンポジウム「地すべり災害と緊急対応」開催について(ご案内)

記

【日時】平成 17 年 5 月 13~14 日(金・土)

【場所】13 日: 総会・シンポジウム 長野県民文化会館 : 長野市若里 1-1-3 TEL026-226-0008  
意見交換会 メルパルク長野 : 長野市鶴賀高畑 752-8 TEL026-225-7800

14 日: 現地見学会集合・解散場所 JR 長野駅東口

【交通】長野県民文化会館 (JR 長野駅東口下車徒歩 15 分, タクシー 5 分) <http://business2.plala.or.jp/n-kenbun/>  
メルパルク長野 (JR 長野駅東口下車徒歩 5 分) <http://www.mielparque.or.jp/ngn/ngn/ngn01.html>

#### ◆ 2 日間の開催スケジュール ◆

5 月 13 日(金)予定

- 9:45 ~ 10:10 (社)日本地すべり学会中部支部総会
- 10:15 ~ 10:50 (社)日本地すべり学会・中部支部賛助会員の機器展示, ポスター展示
- 11:00 ~ 17:30 ※シンポジウム※
- 18:00 ~ 20:00 意見交換会

5 月 14 日(土)予定

- 8:30(集合) ~ 12:00(解散) 地附山地すべり現地見学 地すべり資料館および対策工現地見学

#### ---シンポジウムプログラム---

11:00 ~ 11:05 シンポジウム趣旨説明

## 1. 子供地すべりシンポジウム

- 11:05 ~ 12:05 美麻村立美麻小学校  
長野市立湯谷小学校  
白馬村立白馬中学校 「災害常襲地の子供たちによる作文の朗読等」

- 昼休み -

## 2. 移動速度の大きい地すべり災害

- 13:00 ~ 13:30 赤羽貞幸(信州大学教育学部): 盆地縁辺部における大規模地すべり発生の地質学的背景
- 13:30 ~ 13:55 牧田孝光(奈良県五條土木事務所): 大塔村宇井地区地すべりによる道路災害と監視体制について

## 3. 地震による広域的な地すべり災害

- 13:55 ~ 14:20 丸井英明(新潟大学積雪地域災害研究センター): 芋川流域で形成された地すべりダムに対する緊急対応
- 14:20 ~ 14:45 新井場公徳(独立行政法人消防研究所): 緊急対応における斜面防災技術—長岡市妙見における救助活動事例

## 4. 豪雨に伴う地すべり災害

- 14:55 ~ 15:20 藤井隆男(長野県砂防課): 長野県における平成 16 年災害と警戒避難
- 15:20 ~ 15:45 末峯 章(京都大学防災研究所): 徳島県における豪雨災害について
- 15:45 ~ 16:10 林 拙郎(三重大学生物資源学部): 豪雨性地すべりに対する崩壊発生予測の考え方
- 16:15 ~ 17:30 総合討論

座長 檜垣大助(弘前大学農学部)・平松晋也(信州大学農学部)

● 各セッションを通じた全体的討議ポイントは、以下の点になります。

1. 災害時の情報伝達
2. 初動体制(避難・人命救助)のための調査法—移動速度と危険予測
3. 応急対策—調査データの少ない時点での技術的判断

(発表タイトルは多少変更される場合があります)

## 広 報 (その 2)

● (社) 地すべり学会中部支部からのご案内 ●  
「現地見学会と土砂災害防止講座の参加者募集中」

### 企画：「土砂災害防止講座」 ー宮川村台風 21 号災害からの教訓ー

中部支部では、平成 17 年 6 月 10 日 (金) ～6 月 11 日 (土) に三重県宮川村において、「土砂災害防止講座」ー宮川村台風 21 号災害からの教訓ーを開催します。宮川村民や地すべり学会会員などの関係者を対象にして、現地見学会と一般講演会を開催します。

ただ今**参加者募集中**(先着 50 名まで)です。開催スケジュール・問合せ先は以下のとおりです。

〔開催期日〕平成 17 年 6 月 10 日 (金) ～11 日 (土)

1 日目＝6 月 10 日：現地見学会・夜間小集会 (研究発表会) ー13:00～17:00

◆ 三重県 JR 紀勢線 三瀬谷駅 発 マイクロバス使用

2 日目＝6 月 11 日：一般講演会「土砂災害防止講座」ー9:00～12:30

◆会場：宮川村 林業総合センター (宮川村役場の向側) 一般講演のみ参加無料

〔講演会講師〕

近藤 観慈 先生 (三重大学生物資源学部助教授)

相澤 泰造 先生 (三重県建設技術センター技術専門監)

【宿泊先】奥伊勢フォレストピア  
TEL 0598-76-1200

【参加費】資料代：1,000 円  
宿泊・技術交流会：10,000 円

〔事務局〕

実行委員長 林 拙郎 (三重大学生物資源学部教授)

行事担当幹事 (社) 日本地すべり学会中部支部 (総務：小野, 企画：飯沼)

〔問合せ先・申込先〕

電話・FAX 026-284-0833 (地すべり学会中部支部事務局 小野幹事)

FAX 026-220-2686 (地すべり学会中部支部事務局：日本工営株式会社名古屋支店気付 飯沼幹事・田中)

E-mail : [a3576@n-koei.co.jp](mailto:a3576@n-koei.co.jp) (飯沼幹事)

#### 現地見学予定地



天ヶ瀬地区の地すべり

遠くから見るとわかりませんが、山の中では、地すべり発生によって1～2mほどの段差 (滑落崖) が連続しています。その段差には、雨水の浸透を防止するために、ブルーシートがかけられています。



新領内橋左岸側

台風による豪雨で斜面が突然崩れ落ち、人命・家屋や道路の流出など、甚大な被害が出ました。



久豆・宮の谷の土石流

沢を流れ下った石や土砂が、家屋に押し寄せて甚大な被害が出ました。

以上 (文責：飯沼幹事・小野幹事)

### 特別協賛法人 (6口)

2 口

長野県治水砂防協会

1 口

石川県森林土木協会

(社)地すべり対策技術協会中部静岡県支部

(社)地すべり対策技術協会中部長野県支部

(社)地すべり対策技術協会北陸石川県支部

(社)地すべり対策技術協会北陸富山県支部

(敬称略) (平成 17 年 4 月 30 日現在)

### 協賛法人 (54口)

1 口

愛知時計電機(株)

(有)アルプス調査所

(株)アンドー

イビデングリーンテック(株)長野営業所

応用地質(株)長野支店

(株)オサン・テクノス

小谷建設(株)

Office アシスト・ゼロ

川崎地質(株)中部支店

関東地質(株)長野営業所

木村建設(株)

(株)キンキ地質センター名古屋支店

(株)建設コンサルタントセンター

(株)興和長野営業所

国土防災技術(株)静岡支店

国土防災技術(株)長野支店

国土防災技術(株)名古屋支店

五大開発(株)

(株)サクセン

(株)シーティーエス長野支店

(有)ソック

総合地質コンサルタント(株)

大北工業(株)

中部地下開発(株)

(株)中部地質

(株)中部日本鉱業研究所

東名開発(株)

(株)東京電機

長野治山林道協会

(株)日さく静岡営業所

日特建設(株)長野支店

日本エルダルド(株)

日本基礎技術(株)長野営業所

日本空間技術(株)

日本工営(株)信越事務所

日本工営(株)名古屋支店

日本工営(株)北陸事務所

日本総合建設(株)

日本物理探査(株)長野事務所

(株)ネプコ

姫川建設(株)

(株)富士和

(株)北信ポーリング

北陽建設(株)

(株)北竜

(株)細野建設

(株)みすず総合コンサルタント

明治コンサルタント(株)静岡支店

明治コンサルタント(株)長野支店

明治コンサルタント(株)名古屋支店

(株)守谷商会

(株)理学

ロック建設(株)

鷺澤建設(株)

(敬称略) (平成 17 年 4 月 30 日現在)

#### 地すべり学会中部支部ニュース

〒380-8553

中部支部事務局

長野市若里 4-17-1

信州大学工学部社会開発工学科内

電話・FAX 026-284-0833 <http://w2.avis.ne.jp/~info-lsc/>

(企画・編集 飯沼達夫, 梅崎健夫, 中屋眞司)